

# 事務事業チェックシート

事務事業No **10380** 事業名 **第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業**

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	1	基幹道路網の整備
取組方針	2	広域幹線道路の整備促進

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	第二阪和国道建設事業費		
	大事業	第二阪和国道建設事業		
	中事業	第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	街路建設課	坂本 茂彦 435-1077
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	第二阪和国道の4車線化の促進		第二阪和国道整備関連事業			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	第二阪和国道建設促進議員連盟に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。全線供用に伴う開通式典や開通記念イベントを開催する。	和歌山県や岬町と連携を図りながら、国土交通省に対し要望活動を行い第二阪和国道の整備を促進する。	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,902	2,085	985	502	435	164	437	0	437	0
伸び率（%）	△11.1%	△23.2%	△66.1%	△75.9%	△55.8%	△67.3%	0.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,525	10,412	9,731	8,296	7,513	7,433	6,714	0	6,714
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,525	10,412	9,731	8,296	7,513	7,433	6,714	0	6,714
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	2,902	2,085	985	446	435	164	437	0	437	0
所要人数（人）	正規職員	1.45	1.31	1.22	1.04	0.94	0.93	0.84	0.00	0.84
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管外出張旅費 335,000円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	要望活動回数	回	目標値	2	2	1	1	1
			実績値	2	0	1		
			達成度(%)	100%	0%	100%	0%	%
成果指標	要望書提出件数	件	目標値	20	20	10	10	10
			実績値	26	0	14		
			達成度(%)	130%	0%	140%	0%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
見直し・改善内容	なし